



【地元企業の技術者等による「匠の技継承講座」I（2回目）】

《目的》

地元造船会社の熟練技能者等による実技指導を通じて、社会で働く方々の技能の高さを実感させるとともに、仕事に取り組む姿勢などを学ばせる。

《実施内容》

ガス切断の実技指導

《講師》

尾鷹 正三 氏 今治造船株式会社
矢原 輝夫 氏 株式会社新来島どっく

《取組》

- 日 時 平成29年10月16日(月)
5・6限目
- 場 所 今治工業高等学校 機械造船科実習棟
- 対 象 機械造船科1年生 1班 8名
- 内 容 ・ガス切断の作業要領等の説明及び講師実演
・ガス切断の実習、筆を使ったガス切断の練習
・講師の方からの助言、まとめ



《講師の先生の助言》

- ・上から下へ向かって切断するとよい。トーチの角度も気を付けること。
- ・切りやすい方向へ体を動かして、移動しながら切断するとよい。
- ・機会があれば、練習になるので造船技術センターものぞいてもらおうとよい。

《生徒の感想・学んだこと》

- ・目で見た感覚で炎の調節を行うなど、経験が大事だということを学びました。
- ・企業の方々が自分達のために時間を削って技術を教えてくださり、とてもいい経験になりました。教わった技術をしっかりと身に付けたいです。
- ・最初は上手く切断できなかったのですが、講師の方にガスの調整方法を教えていただいてから上手くできるようになり、よかったです。
- ・ローマ字の切断も講師の方はとてもきれいで、すごいと思いました。

《SPH推進アドバイザー岡田さんの助言》

- ・切断作業は危険を伴うため、十分すぎるくらい安全に配慮することが必要。
- ・上手く切断できなかった生徒が、なぜ切れなかったのか疑問に感じて、友人のよい所を見て学ぼうとしている姿勢がよかった。
- ・切れた時の笑顔は、もっと上手になりたいという向上心に繋がる大事な要素。

